

## はじめに

高齢になっても生きがいをもち、健康で暮らしたい、また、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしたい、こうした思いは誰もがもつものです。

わが国は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しており、高齢者人口、高齢化率は一貫して上昇していくと予測され、本市におきましても、平成29年には高齢化率が25%になり、4人に1人が高齢者となる見込みです。



また、介護保険制度の創設から15年が経過し、介護サービスの提供基盤の整備は着実に進んでいますが、今後は、医療や介護のニーズが高まる75歳以上の後期高齢者が大幅に増加することが見込まれ、地域における医療・介護連携、認知症の方への支援の取り組みなどを一層充実していくことが必要となっております。

こうした状況の中、すべての高齢者が生きがいをもち、安心して生活ができる地域社会の構築をめざして、第6次春日井市高齢者総合福祉計画を策定しました。

今後は、本計画に基づき、高齢者の生きがいづくりや健康づくり・介護予防への取り組みを推進するとともに、住み慣れた身近な地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・生活支援などのサービスが提供される地域包括ケアシステムの実現をめざしていきたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたりまして、多大なるご協力をいただきました春日井市高齢者総合福祉計画推進協議会委員の皆様を始め、実態調査や意見募集などの機会において、貴重なご意見をいただきました市民の皆様及び関係各位に対しまして厚くお礼を申し上げます。

平成27年3月

春日井市長 伊藤 太